
ラッシュスター

望月唯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラッシュスター

【Nコード】

N1860D

【作者名】

望月唯

【あらすじ】

なかなか思ってることを人に言えない女の子が言いたいことをいう重要さに気づくお話です。

私が世界を愛せば世界はかんたんにふりむくかな

私が愛せるかがいつも重要で

不信感信じてる信じてないぬくもりあたたかさ君の言葉

私はきつとこわいもの知らずじゃなくなつた

本当はこわくてたまらないし臆病で傷つきたくない。

それをどうやって君に伝えればいいのかわからない。

君のこと本当は信じたい。

こんなはずじゃなかったのに。そんなつもりじゃなかったのに。

誤解が誤解を呼びたたみかける。事態は悪化の一途をたどる。

記憶の欠片をたぐりよせ、物語の奇跡をたどる。

明るい場所にいこう。陽の光りをあびよう。君とわらいあえたらいい。

全身に神経を廻り合わせる。

彼女は一点を見つめて動かない。

やがて全身にエネルギーが満ちるのを感じ、彼女は動きだす。

外は今日も明るい。なにかもがいつもどおり。心をほんの少し置き去りにしたまま一日が始まっていく。

午後。気がつくと君の言葉の意味を考える。考えても仕方ない。わかっていても、言葉の裏側にあるものが知りたくて考えることをやめれない。

私はきつと好奇心が有りすぎる。

有り余る好奇心は身を滅ぼす。知ってる。深入りすると自分を見失うから。

だから何も言わない。それでいい。それがいい。

話さなくても解ると思ってた。

私には解るんだから解ってもらえると思ってた。

言葉はそのままの意味で、それに乗る気持ちは一人一人ちがうから。

私間違ってた。

言わなくちゃ。伝えなくちゃ。いちばんにいいいたいこと。いつも伝えられない。

いつも本当はそんな自分がずっとくやしい。

もどかしい想いは悲しさとともに力になる。それは翼で。

いつか羽になって翔ばせたら。私はいつも願ってたのに。自分の願いは自分がいちばん知っている。

好きって言いたい。

たくさんの出来事が積み重なって気づくように。

伝えなきゃ守れない。

大切なことも笑ったことも悲しい思いをしたことも。

彼女は走りだす。

好きって言わなきゃ。今言わなきゃ。

彼のところに走ってく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1860d/>

ラッシュスター

2010年11月27日19時10分発行